

公共施設再配置・町有地有効活用 実施計画 を策定します！

公共施設が
64施設…



東大果樹園跡地(中里)などの
大規模な未利用地が3つ…



前号で、公共施設再配置および町有地有効活用の検討が進んでいることをお知らせしましたが、これまでの検討結果をふまえて、平成30年3月中に「公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」を策定します。

この実施計画では、町が所有している大小さまざまな公共施設と大規模な未利用地について、平成30年度からの10年間にどのような取り組みを進めていくのか、それぞれの施設や土地ごとに具体的な内容を示していきます。

10年間で計画する主な公共施設の再編と土地利用の計画

役場庁舎

平成29年度中に庁舎整備の方向性を決定し、平成30年度以降のスケジュールを定めます。



小中学校

平成31年度までに、将来的な学校のあり方を検討し、その結果をふまえた上で、複合化などの検討を進めます。

プール

現在休止している袖が浦プール(上町)は、議会や地域から再開を望む声が届いています。一方で、温水プール(緑が丘、中里)を含めた3つの町営プールは、今後、老朽化対策などで、膨大な維持管理経費が発生するため、早期に一部のプールを廃止することや民間へ売却することなどを検討します。



東大果樹園跡地

アンケートやワークショップでのご意見をふまえ、「子どもとともに大人も楽しみ学べる場」というコンセプトのもと、町民有志によるイベントの開催などを通じて、段階的に「誰でも気軽に集まれる場所」になっていくことを目指します。



その他

武道館(役場横)は、老朽化が進んでいることから、その廃止時期や体育館などへの機能移転を検討します。



先行実施

駅前町民会館は、老朽化が進み、耐震性能も低いことから、平成30年3月末をもって廃止します。

また、公共施設をより利用しやすいものとするため、町民センターと防災コミュニティセンターの利用時間区分の細分化を平成30年4月から実施します。



この計画の意見募集を実施します！
提出方法は6ページを！

今後10年間では、実施計画策定方針で設定した(前号参照)延床面積の削減目標(今後50年間で-35%)を達成するため、その他の施設についても統廃合を検討する一方で、施設を複合化することによる利便性の向上や予約方法の見直しなど、町民サービスの向上につながるよう検討していきます。

問 企画政策課戦略推進班

